

# 学校では得られない体験を ～読書，音楽，自然などを通して～

学校長 鎌田直純

1学期もいよいよ終わりです。保護者の皆様は振り返ってみてどのような三か月余りだったでしょうか。1年生にとってはすべて新たな経験でした。いろいろと新鮮な驚きがあったことでしょうか。たくさんの行事の中でも4月の和楽会は、学年を超えた生活団と呼ばれるグループで行動する最初の大きな催しで、それぞれの団で結束を強めました。上級生は一つずつお兄さんお姉さんになったことを自覚し、責任感や包容力を少しずつ身に着けました。一年生はそんな上級生たちを見て、さぞや頼もしく思ったことでしょうか。石神井公園への行き帰りで、上級生に手を引かれて歩く新入生は、とても微笑ましいものでした。目的地の公園では、団ごとに皆が遊んでいました。鬼ごっこや花いちもんめなどの遊びをする様を見ていると、教室の中の勉強だけでなく、こういった遊びの中で子供たちは色々なことを学んでいくのだらうと感じました。強制されない自由な宇宙で、一定の規則を持つ遊びによって、人は日常から解き放たれ、生き生きと時間を過ごします。遊びは生活の中で、本当に大事な営みなのです。5、6年生はこれから富浦の臨海学校があります。子供たちはまた自然の中で共同生活をしながら水泳を中心に豊かな時を過ごし、たくさんのことを学ぶことでしょうか。

さてこれから始まる長い夏休みでは、普段学校生活ではなかなかできない事を家庭でなさってください。まずは読書に取り組むのもよいでしょう。物語や伝記、歴史や図鑑など様々なジャンルの本の中から興味のあるものを一緒に読んで、その内容について感想を話し合うのはいかがでしょうか。そしてお子様と一緒に、時々好きな歌を歌ってください。一緒に歌うことは、「息を合わせる」ということに他ならず、知らないうちに心が通い合い、より深い信頼関係が生まれます。自由研究として、お子様と一緒にいろんな夏休みの思い出などを詩にして、メロディーをつけて歌にするのもよいでしょう。楽譜にするのが難しければ録音してもよいかと思えます。また時間を見つけてお子様と自然の中で遊ぶこともしてください。子供たちは自然の中で驚くほどたくさんのもを発見し、思考し成長していきます。

最後に申し上げたいこと、それは夏休み中のお子様方の安全です。くれぐれも事故に遭わないように気を付けて、元気に楽しい夏休みを過ごしていただきたいと思えます。夏休みが終わり、2学期が始まったとき、ひと回りたくましく成長したお子様たちが目を輝かせて語る夏の思い出を、私たちは楽しみに待っています。そして保護者の皆さま、1学期中、学校の運営や活動に、多くのご協力やご支援をいただき、心より感謝いたします。